

誕節第7日(白)

主日礼拝

2026年2月8日 10時20分～

司式:

奏楽:

《神の招き》

前 奏 『われら、すべて 唯一の神を信ず』 J.C. バッハ
招 詞 箴言3章5～8節
賛 美 歌 202

《神の言葉》

祈 禱 聖霊の照らしを求める祈り
聖 書 列王記下4章18～37節 (旧約568頁)
マルコによる福音書2章1～12節 (新約 62頁)

子ども説教
交 読 詩 編 詩編147編1～11節 (171頁)
賛 美 歌 504
説 教 「床を担いで」 八木浩史牧師
祈 禱
賛 美 歌 290

《感謝の応答》

信 仰 告 白 使徒信条
献 金
祈 禱 献金当番
主 の 祈 り (週報表紙、ホームページ掲載)

《派 遣》

頌 栄 27
祝 福
報 告
後 奏

礼拝当番: (役員: 献金当番:
音響: 映像:

■■■ 調布教会は2026年度に創立80周年を迎えます! ■■■

「床を担いで」

『列王記下』は、預言者エリシャによる奇跡を記した箇所です。シュネムに住む一人の婦人は、主なる神とエリシャを敬う人でした。その婦人の息子がいる日、急死します。婦人は真っ直ぐにエリシャを呼びに出かけます。エリシャは死んだ子の遺体が置かれた部屋に閉じこもり、二人だけになって主に祈るのです。それから遺体の上に重なると、子の体は温かくなり、七回くしゃみをして蘇生するのです。エリシャによる死者の蘇生は、エリシャの力ではなく、神のお力によるものです。

『マルコによる福音書』では、体の麻痺した人を主イエスが癒やされた奇跡を記した箇所です。主イエスがおられる家に、大勢の人々が隙間もないほどに集まっているとき、体の麻痺した人を四人の男が連れてきました。彼らは屋根に穴を開けて、主イエスの前に体の麻痺した人を吊り降ろします。主がその病人に「あなたの罪は赦された」と言われると、律法学者たちは「神を冒瀆している。罪を赦すことができるのは、神おひとりだ」と言って抗議します。主はおっしゃいます。この人に『あなたの罪は赦された』と言うのと、『起きて、床を担いで歩け』と言うのと、どちらが易しいか。人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを知らせよう。」そして、体の麻痺した人に言われます。「起きて床を担ぎ、家に帰りなさい。」すると、その人は起きて、すぐに床を担いで出て行きます。主イエスこそ、子なる神なのです。